



みやま



じゃぶち森の ビレッジ 山開き

6月30日

犀川帆柱にあるキャンプ場が「じゃぶち森のビレッジ」としてリニューアルオープンしました。

オープンイベントでは、餅まきや上伊良原神楽の奉納等があり多くの来場者を楽しませていました。

オープンイベントの餅まき

6月定例会の結果報告	2~4P
議会の活動報告	5~6P
7名の議員が町政を問う	7~13P
小学校6年生が議会を傍聴	14~15P
町内の頑張っている団体を紹介	16P

委員会審査報告

6月定例会で総務産業・文教厚生・予算決算常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

総務産業常任委員会

(6月13日)

消費税法改正に伴う条例の一部改正について

付託を受けた13議案のうち

7議案が消費税法改正に伴う条例の一部改正議案であった。

Q 消費税率が上がった場合、町への影響は。

A 予算ベースで、年間約1億円の歳出増加を見込んでいます。今年度は10月実施予定であるので約5千万円と見込んでいます。

文教厚生常任委員会

(6月14・17日)

消費税法改正に伴う条例の一部改正について

付託を受けた19議案のうち

16議案が消費税法改正に伴う条例の一部改正議案であった。

Q ごみ袋について、既に納入されている在庫の取り扱い。

は。

A 在庫について、10月1日以降の販売分は、改正後の消費税法の適用となる。各小売業に対応をお願いしたい。

Q 斎場や霊柩自動車の利用料について、消費税を徴収しないことはできないか。

A 国の法改正に準じて準備を行っている。その様な取り扱いができるのか検討する。



みやこ町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

災害により被害を受けた世帯主に対して貸付を行う際の利率について、現行より低利で貸付できるように改正するもの。

Q 保証人の内容は。

A 保証人は1名で、町内町外は問わない。

予算決算常任委員会

(6月17日)

風しんの予防接種関連費に

695万6千円補正

昭和37年から昭和54年生まれの男性について、当時は定期予防接種の対象外であったため、今年度から3カ年で予防接種を実施するもの。

Q 3カ年で実施する理由は。

A 毎年製造されるワクチンの量は決まっているため年齢により3カ年で振り分けている。

Q 対象年以外は接種できないのか。

A 年齢でその年の対象者を指定しているが、指定された年以外であっても3カ年いずれかの年であれば接種できる。

ブロック塀等撤去費補助金に

54万5000円補正

災害時における通学路等の安全を確保するため、倒壊の危険性が高いブロック塀の改善を行うため実施するもの。

Q 対象現場はどこか。

A 個人を対象に新たに創設された補助金であり、対象現場は決まっていない。

Q 対象地域があるのか。

A 全町域が対象地域である。

ブロック塀等撤去費補助金

- 補助額： 撤去に要した費用の2分の1
- 限度額： 109,000円
- 担当課： 都市整備課

プレミアム付商品券事業費に

1億3200万円補正

消費税法の改正により低所得者や子育て世代の消費低迷を緩和するため実施するもの。

Q 事業の対象者は。

A 低所得者対策として約4700人、3歳未満の子育て世帯として約3000人の計5000人を見込んでいる。

Q プレミアム付商品券の販売はどこが行うのか。

A 他の商品券と区別するため商工会では販売せず、町が販売する。

プレミアム付商品券事業の概要

- 住民税非課税者または子育て世帯(3歳未満の子がいる世帯)の世帯主でこの商品券の購入を希望する世帯主に1セット5,000円(500円×10枚)の商品券を4,000円にて販売
- 1世帯につき5セットまで購入可

担当課： 観光まちづくり課



貸付利率

1.5%を1%に!!

議案第58号みやこ町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例に対する修正動議

(提案理由) 柿野正喜議員

この条例改正は、第8次地方分権一括法に起因したもので、災害援護資金の現行貸付利率3%について、各市町村が、それぞれの条例で制定できるように見直すものである。

各市町村の政策判断に基づき、低い利率での貸し付けが可能となり、被災者の返済負担を軽減し、被災者支援の充実強化に資するべきである。

利率設定は被災状況の環境判断が必要であり、固定率でなく年3%以内に改定するがベストと考えるが、固定率を設定するならば、災害援護



みやこ町集会所条例の一部を改正する条例の制定について

反対 熊谷みえ子議員

今回の条例案は、35号から57号まで、消費税の課税対象となる使用料などの値上げの提案である。

提案理由では、「社会保障の安定財源の確保を図るための抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正するなどの法律」の一部を改正する法律」の施行などに伴う国

資金の貸付制度を鑑み、保証人のある・なしを考慮しつつ、他の多くの市町村と同様に、年1%に改正し、最大限被災者の気持ちに寄り添うことが重要である。

なお、貸付金に係る原資の負担は、国が3分の2、県が3分の1となっている。以上が提案理由の趣旨である。

の政策によるものである。公共施設利用料など、国や県に対して消費税として町が支払わないものがある。

また、条例によっては、切り捨ての整備がされると、若干軽減されるものもあるが、使用料など増額となり、この負担増は容認できない。消費税10%への引き上げは、国民1人当たり約4万円の負担増、4人家族では16万円になると言われている。低所得者ほど負担の重いのが消費税である。

安倍政権の高等教育、幼児教育、保育無償化は、財源が消費税である。商品券の発行など対策をし、増税分は返すと言っているが、最初から増税しなければよいことである。消費税の転嫁はやめるべきであり、消費税増税反対の立場から、今回の条例提案に反対する。

以降57号まで、同様な提案理由によって条例が提出されている。ここであわせて反対討論とする。

令和元年第3回定例会を6月10日から6月25日までの16日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

令和元年第3回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	内田直志	肥喜里雄二	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	中尾昌廣	浦山公明	大東英壽	柿野義直	上田重光	原田和美	熊谷みえ子	飯本秀夫	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (令和元年度みやこ町一般会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (令和元年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
みやこ町教育委員会委員の任命について (原田直美氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町森林環境譲与税基金条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町共同井戸条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町集会所条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町隣保館条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

議案名	議員名	内田直志	肥喜里雄二	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	中尾昌廣	浦山公明	大束英壽	柿野義直	上田重光	原田和美	熊谷みえ子	飯本秀夫	議決結果
みやこ町行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町伊良原コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町活性化センター条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町総合観光案内所条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町森林総合利用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町公民館の設置及び運営管理並びに公民館運営審議会の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町B&G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町歴史民俗博物館条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町総合文化センター条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町立小学校及び中学校屋内運動場使用料条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町立やまびこ診療所診察費及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町農業集落排水処理施設分担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町給水条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町保健・福祉・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
みやこ町葬斎場及び霊柩自動車条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	可決
議案第58号みやこ町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例に対する修正動議		●	●	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	●	否決
みやこ町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	●	○	○	●	○	●	●	○	●	●	○	可決
みやこ町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について（上市・橋ノ本線）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の廃止について（緑ヶ丘住宅内線3765号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の廃止について（緑ヶ丘住宅内線3766号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度みやこ町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度みやこ町水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書（案）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

議会の活動を報告します!

文教厚生常任委員会

勝山中学校、久保小学校、諫山小学校を訪問

7月10日

文教厚生常任委員会は、勝山中学校・諫山小学校・久保小学校の3校を学校訪問しました。従来から委員会では、各学校を訪問し、

学校現場の現状など説明を受け授業など参観してきました。今年は勝山地域3校の学校訪問となりました。

各学校では、校長先生からのご案内にあいさつに始まり、学校紹介と授業内容など説明を受けたのち授業



参観をしました。久保小学校では学校給食の試食をしました。

勝山中学校は全校生徒138名6クラス、特別支援学級3クラス。

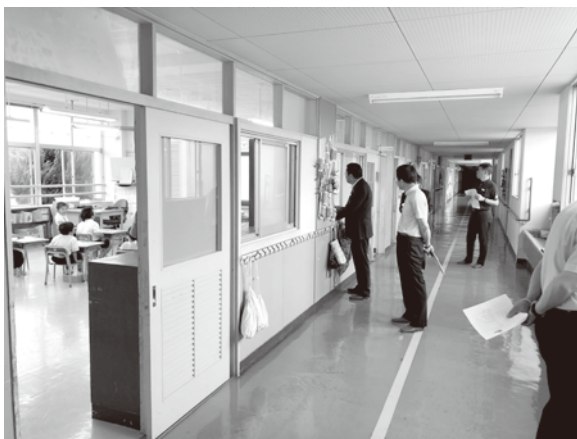
教育目標「志を持って学び、未来を切り拓く人間力を持つ生徒の育成」をかげています。各クラス22人から24人までであり、とても落ち着いた授業がされ



ていました。みやこ町では町費で学力向上のための非常勤講師等の配置がされており複数での生徒への対応がなされています。参観後はクラブ活動の参加状況などを質疑応答。

諫山小学校は複式学級・特別支援学級を含む7クラス、全校児童46名。

教育目標は「郷土を愛し、自己を大切にしながら共に伸びる子どもの育成」をかげています。学力・体力向上プランの取り組みがされています。



久保小学校は特別支援学級を含む8クラス、全校児童90名。

教育目標は「夢を持ち、未来に向かってたくましく 生きぬく子どもの育成」をかげています。

小学校では元気な発表風景が印象的でした。

いま学校現場は「教員の「多忙化」を解消する事など」が課題とされています。

教員の業務を、教員の意見を尊重して整理できるようにし、人的配置など必要と考えます。

すべての子どもたちの学力を保障する学級をつくるための少人数学級など、教育条件の整備が必要です。今みやこ町では、児童生徒数の減少が進むとして学校統廃合が検討課題とされていますが、行政は保護者や地域との合意のない統廃合は検討に検討を重ねて議論すべきです。

活動報告

4月から6月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
4月2日(火)	広報特別委員会
4月4日(木)	町立保育所入園式、みやこ町体育協会総会
4月10日(水)	町立中学校入学式
4月11日(木)	町立小学校入学式、京築広域市町村圏事務組合消防委員会
4月12日(金)	広報特別委員会
4月14日(日)	第13回みやこ町さわやかマラソン大会、 第61回京都郡ロードレース大会、 第8回たけのこ祭
5月16日(木)	みやこ町高齢者大学合同開校式、 京都郡町議会議長・議会事務局長会議
5月17日(金)	航空自衛隊築城基地賛助会役員会
5月19日(日)	町立中学校春季体育大会、みやこ伊良原学園運動会
5月20日(月)	在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村 議会連絡協議会総会
5月21日(火)	在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村 議会連絡協議会航空自衛隊築城基地視察、 行橋京都地区防犯協会総会、 吉富町議会正副議長就任挨拶
5月22日(水)	第1回福岡県後期高齢者医療広域連合議員 選挙区連絡協議会
5月23日(木)	みやこ町女性学級合同開級式
5月24日(金)	みやこ町商工会第11回通常総代会、 筑豊横断道路建設促進期成会総会、 表敬訪問(第74回国民体育大会ビーチバレー競技出場)
5月25日(土)	町立小学校春季大運動会、 令和元年度みやこ町文化協会総会
5月26日(日)	町立小学校春季大運動会
5月28日(火)	全国町村議会議長・副議長研修会
5月31日(金)	福岡県町村議会議長会臨時総会
6月3日(月)	議会運営委員会
6月8日(土)	第14回花しょうぶまつり
6月15日(土)	第70回福岡県植樹祭
6月19日(水)	議会運営委員会
6月21日(金)	表敬訪問(第50回日本少年野球選手権大会出場)、 表敬訪問(第40回文部科学大臣杯少年少女囲碁全国大会出場)
6月25日(火)	広報特別委員会
6月27日(木)	みやこ町社会福祉協議会理事会
6月28日(金)	みやこ町認定農業者の会総会
6月29日(土)	第9回みやこ老連福祉大会
6月30日(日)	じゃぶち森のビレッジ「山開き」



表敬訪問 第74回国民体育大会ビーチバレー
競技出場決定(育徳館高校)



第70回福岡県植樹祭



表敬訪問 第50回日本少年野球選手権大会
出場決定(京築ボーイズ)



じゃぶち森のビレッジ「山開き」



中山 茂樹
議員

Q 県道より民家に通じる道で、毎日、車が通り、誰が現地を見ても、里道と思えない道がある。現況に合わせるべきでないか。

A 里道を町道にするには、町道の認定基準に適合しているかを調査し、認定基準に適合していれば議会承認を得て、町道に認定する。町道であれば、町で拡幅工



里道（犀川下高屋）

事をするのが可能となる。

Q 里道を町で拡幅工事できないか

A 町道認定できれば可能

防災対策

Q 国や県の災害査定を受け受諾された災害箇所への復旧工事は進んでいるが、小規模災害箇所の復旧は、いまだ手つかずだが、町はいかに対応するか。

A 国や県の補助対象外の小規模災害の復旧については、みやこ町単独事業の小規模農業施設整備事業補助金を活用し、復旧している。

Q 今後、災害を未然に防ぐために、砂防ダムや河川の浚渫計画はどのようになっているか

A 京築県土事務所を確認したところ災害を未然に防ぐ対策である砂防ダムの計画は、町内では1か所計画がある。

県営河川の浚渫については、現在浚渫計画はなく地元要望があった所を浚渫していると聞いている。また、町が管理している河川については、計画的に現地調査を行い対応している。

子育て支援対策について

Q 国は子育て支援策として、本年10月より幼児教育の無償化、来年4月より大学など高等教育の無償化を行うようである。

みやこ町として、町単独で、町外の小中高へまた、各種専門学校へ通う子どもを持つ親の経済的負担を軽減するため、通学定期代金の支援策をどのように考えているか

A （教育長）本町では、例年町外の高校に進学している生徒が卒業生の9割程度おり、高校生の多くが公共交通機関を利用していると思われる。

公共交通機関の通学定期の一部を補助する等の支援を行っている市町村が全国的にはあることは承知しているもので、実施の必要性や実現性について調査したい。

高齢者支援策

Q 荻田町のように巡回バスを走らせてはどうか。

A 町内には定期運行する平成筑豊鉄道や路線バス、コミュニティバスがあるが運行ルートや停留所が決まっております。仮に旧町間に巡回バスを導入しても、中山間地が多く存在するみやこ町においては、同様な課題を残す。

そこで町としては、利便性の高い交通手段として、平成25年から、あいのりタクシーの運行を開始し、運行区域の拡大を行ってきた。

今後においても、利用者のニーズの把握、利用状況等の確認を行い、より利便性の高い公共交通施策を検討する。

Q

パスポートの 発給窓口の設置を

A

近隣市町の対応を注視し検討したい



柿野正喜
議員

Q 中学生の海外ホームステイ事業、オリンピックの事前強化合宿、留学生との交流事業など国際化を身近に感じる今日。また、平成29年度に豊前市が、今年5月には上毛町が発給窓口を開設したが、みやこ町もその時期にあるのでは。町の考えを伺う。

A 平日の勤務時間の延長や休日の窓口開設についての検討が必要なことや、旅券申請以外で窓口を利用される方の待ち時間が、新たに発生するなどの諸問題が懸念され近隣市町の対応を注視しつつ検討したい。

Q 諸問題を具体的に問う。設置スペースや人員、経費、職員の休日勤務、申請から交付までの日数が現在の6日から10日に延びる、従事職員の研修等の問題が考えられる。

A 全国で高齢者ドライバーに関係する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

平成29年京築地区旅券申請件数

行橋市	1,868 件
豊前市	530 件
苅田町	869 件
みやこ町	376 件
築上町	369 件
吉富町	160 件
上毛町	145 件

福岡県ホームページより



平成30年度みやこ町海外ホームステイ事業

Q 運転免許の自主返納の流れも出ているが、地方において自家用車が生活する上での大事な移動手段になつており、なかなか進まない現状である。町としては安全運転を促す啓発活動を行うとともに安全対策につながる情報の周知に努めるなど、警察、行政、地域が一体となり対策を講じていく。

Q 全国で高齢者ドライバーに関する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

Q 自主返納者、運転を控える推進策として、巡回バスの導入、あいのりタクシーの導入、あいのりタクシー

Q 全国で高齢者ドライバーに関する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

A 今の意見の中で行き先を指定しないで自由に乗ることはできないか、まさに本日の某新聞に掲載されていたが、国の打ち出した定額タクシーというのはその方向ではないかと思う。導入が決まれば町としても実現可能か、免許返納者への支援措置として検討したい。

Q 全国で高齢者ドライバーに関する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

A 今の意見の中で行き先を指定しないで自由に乗ることはできないか、まさに本日の某新聞に掲載されていたが、国の打ち出した定額タクシーというのはその方向ではないかと思う。導入が決まれば町としても実現可能か、免許返納者への支援措置として検討したい。

京築地区の運転免許証自主返納支援事業

豊前市	市バス乗車券、タクシー乗車券の無料交付（70歳以上）
苅田町	コミュニティバスの回数券の無料交付
上毛町	築上東部乗合タクシー回数券、タクシー初乗り利用券の無料交付等
築上町	町コミュニティバス無料乗車券の交付等

福岡県ホームページより

Q 全国で高齢者ドライバーに関する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

A 今の意見の中で行き先を指定しないで自由に乗ることはできないか、まさに本日の某新聞に掲載されていたが、国の打ち出した定額タクシーというのはその方向ではないかと思う。導入が決まれば町としても実現可能か、免許返納者への支援措置として検討したい。

Q 全国で高齢者ドライバーに関する痛ましい人身事故が続発している。県内の高齢者による交通事故も年々増加しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故も発生している。町は高齢者ドライバーの交通安全対策をどう考えているのか。

A 今の意見の中で行き先を指定しないで自由に乗ることはできないか、まさに本日の某新聞に掲載されていたが、国の打ち出した定額タクシーというのはその方向ではないかと思う。導入が決まれば町としても実現可能か、免許返納者への支援措置として検討したい。



熊谷みえ子
議員

給食費の実費徴収について

A 統一できるよう協議中

子育て支援を

Q 公的保育制度の後退にならないように。

改定子ども・子育て支援法は消費税増税とセット、切実な子育ての願いを逆手にとって、消費税増税を国民に押し付けるもの。無償化の対象外である給食費について問う。

保育の現場からは「給食

もおやつも保育の一環であり、『実費徴収』には、批判の声がある。未納が起きるリスクも、それぞれの保育所が背負うことになりかねない。

低所得者の場合、無償化される保育料より給食費の方が高く負担増になる可能性もあるが対応策は考えているか。

A 1市2町とみやこ町保育協会で話し合う。

国は、10月、無償化を予定。対象者は、保育所などに通う3歳から5歳までの子ども、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもである。

みやこ町、行橋市、苅田町と実費徴収のありかたが統一できるよう協議。みやこ町保育協会で話し合いを行う。

Q 公立施設については、全額市町村の負担になる。公立保育所の民営化に拍車がかかるのではないかと心配している。

公共施設の再配置計画に、民営化をする方針、「1園は残し、久保保育所と豊津保育所の2園の保育所を民営化」に、拍車がかかっては困るなど危惧をしている。

A 民営化を行う前には、必ず保護者の御意見も聞くということをはかっている。すぐに民営化を開始すると

いうことではないと御理解いただきたい。



豊津保育所

中学校統合計画は廃校を前提でなく3校存続するための検討を求める

Q 学校統廃合の計画があるだけで地域づくりに逆行することになる。白紙撤回をすべきだと要求してきた。学校が統廃合をされる恐れがある地域、小学校・中学校がなくなり、学校が遠くなれば、帰ってきてとは言えなくなるという声があ

A 旧町に1校しかない中学校がなくなること、人口の減少がさらに進むのではないかと、通学距離が長くなり、通学距離が近い他の中学校への通学が増えるのではないかなど、中学校の統合について多様な意見をいただいた。

令和6年度開校を目指す中学校の統合は改めて、もう少し検討の時間を頂きたい。

保護者の意向を確認するためのアンケート調査などを行い、再編整備の時期や具体的な内容を検討してまいります。

Q

選挙ポスターの 掲示場所は

A

公営掲示板以外は
貼ることはできない



原田和美
議員

公職選挙法について

Q 指定された掲示板以外にポスターを貼って良いのか。

A 公職選挙法では、公営掲示板以外にポスターを貼ることはできないとされている。

本庁について

Q 合併協議会の申し合わせを無視し、旧勝山町を本庁にした真意を問う。

A 勝山庁舎が一新新しく、庁舎としても機能的にも最も適していた。

Q 豊津支所、犀川支所がなくなると、高齢者の方が、税金の納入に勝山本庁まで

行けないと相談に来た。町民の真意を聞いてやらなかったのか。

A 聞く耳を持って改善していききたい。

Q 旧豊津町のアスベスト撤去にかかった工事費を問う。

A アスベストの撤去工事に約3940万円、その他の改修工事と合わせて、全体で約1億2100万円である。

Q 今回の解体工事費9千700万円と合わせると2億円を超える。一般財源か。

A 改修事業は基地周辺整備補助金である。

入札方法について

Q 指名競争入札を公募型の一般競争入札方式に変更した理由を聞く。

A 基本的に町内業者の機会を多くするという意味で公募型の一般競争入札を行っている。

Q 小さい工事でも大きい

工事でも町内業者にやってほしい。

A 町内業者を優先していきたい。

日本国憲法について

Q 公共施設に仏壇等を設置して良いのか。

A 公民館に仏壇を保管しているが、日本国憲法第20条の「政教分離の原則」に低触するのではないかと御指摘をいただき、弁護士に相談した結果、憲法違反には当たらないとの見解をいただいた。

Q 弁護士を呼んでいただきたい。

A この件については再度、地元区に向いて、お願いをする。

Q 神社の鳥居を行政が工事発注した事実があると聞くが本当か。

A 林道蔵持山線沿いの蔵持山神社に新設された鳥居のことと思われるが、蔵持山神社宮総代等関係者が建

立したもので、町が費用支出や工事を行ったものではない。

Q 鳥居を建てるのに蔵持山神社宮総代が、300万円を出したのか。

A 伊良原ダムの工事に関連して撤去する際に、補償費が出たと聞いている。

林道について

Q 町内に林道は何本あるのか。また、規制した林道はあるのか。

A 町内には18路線の林道があり、そのうち1路線を規制している。標識は認識不足で今まで設置していなかった。

Q その規制した林道の予算は何か。

A 同和对策事業で旧豊津町のとくに開設した。

(意見) どの林道も一緒である。相談に来たときは利用できるように行政は、配慮していただきたい。



柿野 義直
議員

Q 勝山運動公園（勝山宮原地区）はどつするの。
A 本年度末に廃止する。企業誘致または宅地販売を計画している。企業誘致の場合は、環境に配慮しながら事前に地元説明会を開き地域の意見を聞きながら進める。令和2年以降の公募を検討している。宅地造成をする場合にも地域の意見を聞きながら進める。

Q 適正価格で販売するべし。販売にあたってルール作りが必要。
A 再配置計画は行政経営課が統括して方針を決定している。その後は所管課が対応する。財産の処分は必要があれば審議会にはかる。

Q 公共施設の跡地利用は地元に相談しながら進めること
A 事前に相談する

Q 高齢者の生活をどのように見守っているのか。特に1人暮らしの方の状況はどうか。
A 看護師6名により75歳と80歳になる方全員及び81歳以上で要介護認定を受け

Q 高齢者等専用の窓口を作ってほしい。
A 本庁別館の地域包括支援センターを高齢者専用窓口とする。相談内容に応じて関係部署につないでいく。職員1名を増員して25名体制とした。相談窓口の名札は設置可能である。



廃止が決まった勝山運動公園

Q 福祉バスの復活を求めらる。
A 利便性の高いあいのりタクシーを利用いただきました。

Q あいのりタクシーの料金改定（2区間で往復1200円）は進んだのか。
A 町内全域運行に伴う値上げは行わず、料金据え置きとしている。

Q 全国的に見てスクールバスを活用して地域の活性化や高齢者に役立っているところもあるようだ。研究しているか。
A （教育長）校外学習や部活動などほぼ毎日運行しているため、現在のところ、他の用途に利用することは困難である。

ていない高齢者、合わせて1957名を対象に訪問を行っている。特に1人暮らしの方には看護師による定期訪問を行い、民生委員、地元区長、駐在所に見守りの協力依頼をお願いしている。

Q 箱物行政が進んでいるが町民へのサービスは大幅に削られている。一方で大型公共工事が進んでいる。地域の元気がなくなっている。行政サービスの確保が求められている。
A 豊津公民館は豊津支所解体後の跡地に文化交流センターとして防衛省の補助事業を申請する計画。完成までにこれから8年かかる見通し。

Q 豊津公民館は豊津支所解体後の跡地に文化交流センターとして防衛省の補助事業を申請する計画。完成までにこれから8年かかる見通し。
A （教育長）犀川地区小学校は11億円、令和2年4月開校。豊津地区小学校は概算で16億円、令和4年4月開校予定。勝山地区小学校は今後検討していく。

Q 3つの小学校と豊津の公民館の建て替え計画の期間と費用はいくらか。
A 豊津公民館は豊津支所解体後の跡地に文化交流センターとして防衛省の補助事業を申請する計画。完成までにこれから8年かかる見通し。

い。箱物行政が進んでいるが町民へのサービスは大幅に削られている。一方で大型公共工事が進んでいる。地域の元気がなくなっている。行政サービスの確保が求められている。

Q

農家の高齢化と後継者不足の対策はいかに

A

就農の経営確立を支援している



中尾昌廣
議員

Q 農家の平均年齢は68.5歳、70歳以上の人達が農業に従事している。

35歳以下の働き手がわずか5%と云う。

特にみやこ町は、高齢化が急速に進んでいるが対策は。

A 集落営農組織連絡協議会を中心に、各集落営農組合による農地の集積を進め生産規模の拡大を図っている。



犀川喜多良地区の欄干のない橋

犀川喜多良地区の河川の橋について

Q 地区住民の生活道路であり、大雨や風の強い日は欄干がなく高齢者にとって非常に危険である。人命にかかわる事から早急なる対策を。

A 県営河川に架かる橋であり河川堤防の道路も県道である事から、県土整備事務所と協議し、早急に進めて行く。

崎山地区林道について

Q 田原くノ瀬線の山崩れがまだ復旧されていない。山や畑を持っている人達が困っている。復旧を。

A 今月中に工事発注を行い、7月下旬には復旧を予定している。

集落支援事業員・地域おこし協力隊について

Q 今現在、過疎地域において人口減少や高齢化に伴い、生活力の低下、交通手段の不足、空き地の増加、森林荒廃、耕作放棄地の増加など課題が山積している。なくてはならない事業だがいかに。

A 集落支援員は平成22年度から伊良原・帆柱地域、平成24年諫山地域と鏡畑地域に導入済である。訪問・相談等の件数は約4000件。相談内容は担当部署と連絡・調整を行っている。地域おこし協力隊は平成27年度から導入している。任

期を終了した5人のうち4人が現在も在住。うち3人は活動団体で引き続き活動している。

あいのりタクシーについて

Q 高齢者にとって安心安全で、すばらしい事であり、多くの人に利用して頂きたい。そのためにも分かりやすい説明と心ある思いやり料金に。

A これまで専用ダイヤル設置や増便を行ったが、今後は、利用状況・財政状況等勘案しつつ住民ニーズに対応した利用料金の検討や、使いやすい「あいのりタクシー」として利用向上に向けて周知等を進めていく。



内田直志
議員

Q 地方創生は平成26年12月の閣議決定からはじまった国の政策である。根底にある課題は人口減少、地方の過疎化、東京の一極集中。現在みやこ町では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って町づくりが進められている。各目標値に対する現状は。

A 第一期総合戦略は、本年度が最終年度である。各目標値について単純に達成、未達成についてのみの割合を数値として伝えるのが適切か分からないが、平成30年度末で約5割の達成見込みである。今後、目標未達成であっても評価できるもの、継続すべきものなどの分析が必要。第一期をふま

Q 官民連携による町づくり
A 地区とのパートナーシップ向上を図りたい

え、第二期総合戦略において、まち・ひと・しごとの好循環の確立に向けて取り組みたい。

補助金などの積極的な情報収集

Q 町財政は今後ますます厳しくなることが予想される一方で、町には課題が山積している。今後の政策推進には国や県の制度や補助金について継続的かつ積極的な情報収集が欠かせない。この情報収集の重要性に対する認識、町の取り組みの現状について問う。

A 自主財源がとぼしいみやこ町にとって、限られた財源の中で最大限の効果を発揮するためには、国や県の補助金がかかすことができない。国が県に向けて重点施策や新規事業の制度や補助金の説明会を開催、そして県から市町村に情報提供、説明会がある。対応できそうなのは各課に連絡、そ

のほか各種補助金情報を積極的に得るよう指示している。

官民連携による町づくり

Q これからは「行政による町づくり」だけではなく、民間・住民のアイデア、ノウハウ、力を使った「民間による町づくり」というもう一つの柱をたて、官民連携による町づくりを積極的に進めていくことが必要。今後、住民と行政の対話や協働の機会を増やすことについてはいかがか。

A 行政情報の積極的な公開をはじめ、住民参加型のワークショップの開催、

計画づくりにおける住民参加、パブリックコメントなど実施し、開かれた町政を目指している。また、職員による地域担当制を導入しており、地域とのパートナーシップの向上を図りたい。（勉強会については）担当課と相談しながら、町政報告会などいろんな形で行っていききたい。



みやこ町の各種計画書



地域の将来を考

～ 黒田小学校・豊津小学校

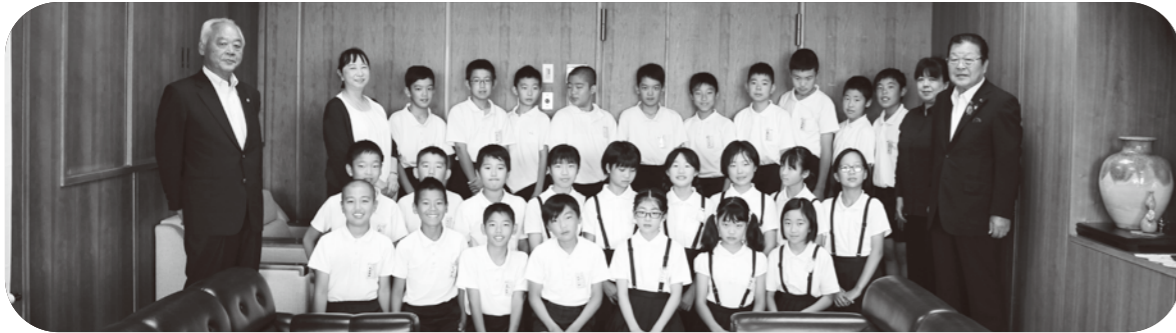
6月10日から25日までの会期で開催された6月定例会に子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。

える子どもたち!



の児童が議会を傍聴 ～

黒田小学校と豊津小学校の6年生の子どもたちが傍聴に来ました。感想文を頂きましたので、少しですが、ご紹介いたします。



黒田小学校6年生 議長室にて



豊津小学校6年生 議長室にて

☆ぼくは議会在どのように進められているのか知りませんでした。町長さんと議員さんが話し合いながら、みやこ町のことを真剣に考えていることが分かりました。議会見学に行く前は、どのような話し合いをしているのだろうと思いました。実際に議会を見学すると選挙のポスターで見た町長さんや議員さんがみやこ町の問題について話し合っていました。議会の様子を見て、町長さんや議員さんたちは頼りになるなあと思いました。

☆私が今日、議会傍聴をして思ったことは、議会に参加している人みんなが次々と意見を出していました。それを見て私は、みんながもっとよりよく暮らせるように、議会をしてくれているんだなと思いました。そして今日話し合っていた、「あいのリタクシー」や「じゅんかいバス」のことで私は、「あいのリタクシー」だけではなく、「じゅんかいバス」もだせばいいと思いました。だけど話し合いをきくとどちらもデメリットがあるんだなと思いました。そして貴重な体験ありがとうございました。

☆私は議会を見学してみやこ町のことは、議会を通して決められていることがわかりました。議会では、議長さんを中心に話し合いが進められていました。議員さんの質問に町長さんが答えながら、みやこ町のことを話し合っていました。わたしたちが暮らしやすいように真剣に話し合いをしている様子を見て、ありがたいなと思いました。

☆わたしは、議会傍聴でわかったことは、質問をする場に立つときや何かをするときに、必ず「礼」をしていたことです。だからわたしは、これから年上の人や目上の人に何かをするときは、礼正しく行いたいです。また、すごいなと思ったことは、議長さんや回答する人は、つまらずに、進んでいたことです。それは、質問することをわかってるうえで回答しているそうです。だから、これから司会になったときや質問する側になったときは、議会傍聴のようにスムーズに進めたいです。また、議会傍聴を見てみやこ町を良くしようとする気持ちがとても伝わりました。この思いが伝わったことで、わたしもみやこ町がよい町になったらいいなと思いました。

☆議会を見学して、みやこ町議会は、私たちのために一生懸命話し合ってくれていることが分かりました。話し合いの内容は難しかったけれど、私たちの生活を守るような話題でした。議会の人たちは、私たちの町をよりよくしようとしているので、私たちも自分たちでこの町をよりよくしようと思いました。

☆ぼくは、議員さんの話を聞いて、ぼくたちのために色々なことを話しているのを初めて知りました。今まで、ぼくが幸せにくらしているのは議員さんたちのおかげと知らなかったけど、話を聞いて議員さんのおかげと知ることができました。だからぼくは、今生きている、一日一日を大切に生きていきたいです。もう一つ、たくさん自分の意見を言っていた議員さんは、すごいなと思いました。なぜかと言うと、自分の意見を恥ずかしがらず、しっかりとっていたからです。その議員さんを見習って、これからは恥ずかしがらず勇気をもってたくさん発表したいです。

☆今日、議会傍聴がありました。傍聴する前は「きつとたいくつだろーな」と正直思っていたけど、聞いていくうちにだんだん議員さんたちの発言がよりくわしくなっていて、とてもおもしろくなって、終わりになると「たいくつ」というより、「おもしろいな～もうちょっと聞いていたいな～」と思いはじめました。それと議員さんたちの発言のしかたにも、注目することができました。私が一番びっくりしたのは、発言と発言の間がなかったことです。その行動は簡単にできることではないと思いました。理由は議員さんの発言を予測して返答しなければいけないからです。私たちのクラスは発表と発表の間があかないように、みんなががんばっています。だから、わたしは議員さんのように、つなげて発言ができるようになり、クラスの雰囲気をもっとよくしていきたいです。

議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することが出来ます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。
次回、9月定例会の招集日は、9月5日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。
なお6月定例会の傍聴者は79名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。また、ホームページでも平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に来てね☆



がんばりつちよる

今里区

生き生きサロン

犀川今里は公営住宅の住民が主体の120戸の集落です。

6～7年前から公営住宅の建て替えにより、平屋だった住宅は、6階建て、4階建て、3階建てのアパート形式に変わり、各自の玄関ドアはロックされて、夜間はもちろん、昼間でも住民同士が顔を合わせる機会が少なくなりました。加えて、他の公営住宅から積極



元気アップ体操

的に転居を受け入れたことで、更にお互いのつながりが希薄になり、一挙に「隣は何をする人ぞ」といった様相に変わってしまいました。

地域づくりを目指して

そんな折、社会福祉協議会の呼びかけもあって「生き生きサロン」を開催しよう」ということになり、まずは毎月1回、開くことになりました。

「看護師によるミニミニ健康相談」「健康体操」「脳トレ運動」「ゲーム」「創作ダンス」「みんなで楽しく食事会」などのメニューで毎月1回開催してきましたが、今年度からは理学療法士を派遣していただき、本格的な運動指導をしていただけることになりましたし、希望者による手芸教室(クラフトバンドでかご作り)も取り入れて、毎月2回行っています。

サロンを開催して3年目になります。目に見える効果が現れ始めました。「杖なしでも少しづつ歩けるようになったよ」「股関節の痛みもすっかり無くなり、駆け足も平気になったよ」という人も現れましたが、なによりお互い気軽に声を掛け合ったり、情報交換できるようになったことです。



みんなで楽しく食事会

幅広いふれあいの場として

老人クラブもない、子供会もない、婦人会もない今里にとって「生き生きサロン」は唯一の住民のふれあいの場となっています。

今後は、単に高齢者のふれあいや健康づくりの場としてだけではなく、子どもや子育て中の若者も巻き込んだ幅広いふれあいの場とされるように工夫を凝らしていけたらと考えています。

代表兼連絡先

福田 直

犀川山鹿132-1
Tel 42-0432

編集後記

暑中お見舞い申し上げます
「椰子の実」 作詞 島崎藤村

名も知らぬ遠き島より、流れ寄る椰子の実一つ、という風情のある詩があります。この詩は1898年(明治31年)の夏に愛知県、伊良湖岬(恋路ヶ浜)に滞在した柳田國男が浜に流れ着いた椰子の実の話を島崎藤村に語り、それを元に創作したものです。

経済が発展し生活が豊かになった現代社会は、「椰子の実」の詩のような、風情がなくなり、世界中の海岸には大量のプラスチックゴミが流れ着き、砂浜の景観をだいなしにしています。非常に残念です。

経済が発展するのは良いが、思いもよらぬ弊害が地球上で起きています。

まだまだ暑い日が続きますが、水分補給を怠ることなく、体に十分気を付けてください。

中山 茂樹

議会広報特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	中山 茂樹
委員	原田 和美
委員	柿野 正喜
委員	肥喜里 雄二
委員	内田 直志
委員	田中 勝馬
発行責任者	田中 勝馬